

## 令和元年度第2回枚方市環境審議会環境基本計画策定部会における意見要旨

## 1. 市民・事業者アンケートの集計結果について

|   | 委員の意見等   | 今後の方向性  |
|---|--|---|
| 1 | 参考資料2の1ページの市民アンケートの回答者の年齢割合について、70～79歳の回答者の割合がかなり高い。回答者の比率については、枚方市の年齢構成割合でウェイトをかけて割り戻さなければ、本当の市民の状況がわからないのではないか。        | 年齢構成割合でウェイトをかけて割り戻す方法を検討し、今回の報告と異なる結果となれば、次回までに報告させていただく。       |
| 2 | 参考資料2のグラフのように、年齢を3分割しウェイトを合わせたらいいのではないか。   | 年齢を3分割することや人口の年齢構成との比較であるとかは、一度整理させていただき、どのような傾向がでるのか確認させていただく。 |
| 3 | 業者に検定してもらえば、統計的に有利なのかは出ると思う。統計的に扱えないものを根拠にするのは良くないので、検定して信頼度をはかってみることを検討をお願いします。   | 統計的な信頼度に問題がないか、業者と相談し、検討する。                                     |
| 4 | 自由回答欄で「枚方市が暑いと報道されないようにしてほしい」という意見があるが、そのような報道があるためヒートアイランド対策の取り組みの重要度が高いのか。   | ヒートアイランド対策と地球温暖化対策に対する施策を区別していく整理が必要と考えている。                     |
| 5 | 大阪府は年間平均気温が高いのだが、都市温暖化現象だけが要因ではなく、地形に左右される部分がとても大きい。都市温暖化の場合は、風通しを考慮するなど対策できるが、地形はどうしようもないところがあるので、対策をとるときに区別することが重要と思う。 | 次期環境基本計画では、地形的などの状況も含めて策定していくこととなると考えている。                       |
| 6 | 事業者アンケートの自由記述欄に「年齢でできません、何歳で引退しました」というような記述があったが、事業者でありながら個人を代表しているような回答となっている。まとめるときは、どのようにまとめるのか。                      | 事業者アンケートの結果、回答数が60～70程度で少なかったため、全体的に一定の傾向を把握することで整理をしている。       |

## 2. 市民ワークショップの報告について

|   | 委員の意見等                  | 今後の方向性   |
|---|-------------------------|--|
| 1 | ワークショップの実施報告について公表するのか。 | 今回参加いただいた方には冊子にして配るつもりである。また、ホームページに掲載する予定である。 |

3. 計画の方向性について

|   | 委員の意見等   | 今後の方向性   |
|---|--|--|
| 1 | 基本目標の番号は、市のほうで重要度が高いと思われる順番からつけているのか。  | 今の考え方は、1番が全項目に共通する重要な部分ということで、頭出しをしている。2から5については、特にこの順番ってということではなく、同列というイメージである。 |
| 2 | 1は最初か最後かどっちでもいいが、この基本目標の2、3、4、5の順番、どちらかというと、2と4が割と強い関係があって、3と5が強い関係があって、入れ子になっているような感じがする。その枚方市全体が置かれたその自然環境というものを大きく見るのか、それとも都市生活っていうものを中心にみていくのかで位置関係が変わってくると思う。 | 基本目標の順番について、それぞれの目標の関連性も含め、検討する。   |

4. 今後のスケジュールについて

|   | 委員の意見等  | 今後の方向性  |
|---|---|---|
| 1 | この部会報告は、来年の3月に報告するということが、これは計画そのものというよりは、方向性とか、大きな枠組みとか、そういうのを報告するということがいいのか。 | 計画の形については、一定議論をいただきたいが、生物多様性の国家戦略について、この情報が3月末までにどれくらい出るかということ等を含めて、計画そのものとして答申をいただくというイメージではなくて、それも踏まえた形で方向性として答申いただきたい。 |